



土星の環を見よう！
月のある日はスマホで月撮影も！



星空観察会のご案内

本日は国民宿舎小豆島をご利用いただき、まことにありがとうございます。

当館では、本日午後??時??分から午後??時??分頃まで、本館 3 階屋上において、移動用としては大型の天体望遠鏡を使った星空観察会を開催します。

6 月からは観望の絶好機を迎えている木星に加え、いよいよ星空観察会で最も人気のある環のある惑星・土星がご覧いただけます。また、天の川の中心がいて座の方向に見られることから神秘的な星雲・星団も数多く見られます。

月が出ている夜は月もご覧いただけますが、双眼装置を使って両目で見る月のクレーターや山脈は大迫力で眼前に迫ってきます。上弦(半月)前から満月の間は、スマホ限定とさせていただきますが、クレーターもはっきり写る写真を撮るサービスも行っていますし、運が良ければ流れ星も見られるかも？大勢の方のご参加をお待ちしております。

ご覧いただく予定の天体

土星

この時期、東の空ににぶく輝くのが土星です。今年は環が最も開いて見える年で、環の隙間であるカッシニ空隙も見やすくなっています。本体には淡い縞模様、周りにはタイタンをはじめいくつかの衛星が見えます。ぜひご自身の目で確かめてください。



星雲・星団・二重星

星雲には私たちの銀河系と同じく数百億～数千億の星の集まりである系外銀河と、ガスが星の光によって照らされている散光星雲、星が爆発した後の姿である惑星状星雲の 3 種類があります。それぞれ大変淡い光であり、光を蓄積した天体写真とは比べるべくもありませんが、数千光年(1 光年は約 10 兆キロ)から遠いものは数千万光年先にある天体を直接肉眼で見ることにはまた別の趣があります。

今回は、無数の星がボール状に集まったヘルクレス座大球状星団や、全天一美しいといわれる二重星アルビレオ、恒星の最後の姿であること座トーナツ星雲M57、こぎつね座垂鈴状星雲M27 や散開星団などをご覧いただく予定です。たて座 M11 やいて座 M23 などの散開星団は、暗闇に目を十分慣らしてから見ると、まるで万華鏡のように無数の星が瞬くのが見え、宇宙の神秘を感じさせてくれます。小豆島の星空をぜひお持ち帰りください。